

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は、7月11日発行のニュースリリースNo.84以降の動きについてご報告いたします。

1. 「プラネタリーヘルス・イニシアティブ（PHI）」は順調に進捗しています。

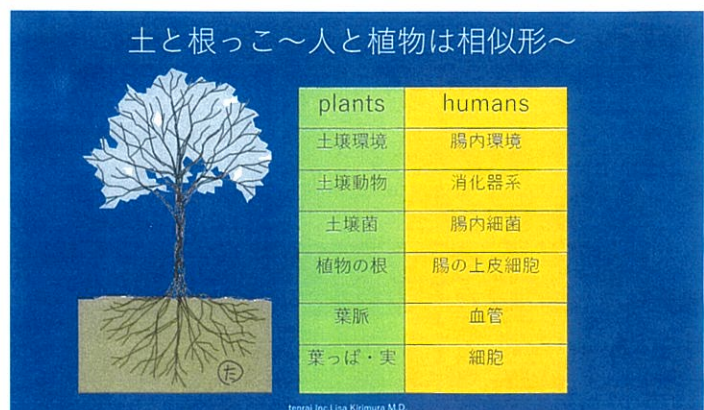
JAHI が7月27日に立ち上げたPHIは8月22日（火）、大阪から医療法人仁善会 田中クリニック理事長・院長の田中善先生をお迎えして、第2回会合を開催しました。田中先生は大阪大学第一内科に入局され、腎炎の生化学的進展機構の解明で学位を授与された後、大阪厚生年金病院などで腎臓病、透析療法に携わりましたが、その後、ガンの先進・補完医療に進まれ、例えばステージⅣで大病院から見放された患者さん等を対象に、食事療法・ビタミン点滴などの治療法を駆使し可能性に賭けた治療をされている素晴らしいドクターです。

当日は「プラネタリーヘルスとしての医学」と題して、(1) なぜ国民の健康寿命は伸びないのか、(2) なぜ日本人はガンによる死亡数が多いのか、(3) 病気の予防には他の微生物との共生が必要、といった医療者と生活者の間に立った「農業者」や「流通業者」に対する問題提起をされました。(1)は日本の医療には予防医学や栄養医学の知識が欠けており、医師は「病気学」を学んでいるが、「栄養学」を学んでいないからだ、としています。また、(2)に関しては、ガンの予防・治療には「食事・栄養」が重要であり、さらに根本的には「農業」との間で医農連携が必要である、と主張されます。

ちなみに、田中先生の提唱される「ガンの食事・栄養の基本」は、①糖質を選択する（ブドウ糖・果糖・砂糖は避ける）、②野菜・食物繊維をたくさん食べる（キノコ・海藻類）、③抗がん作用を持つ食物を食べる（ファイトケミカル）、④主食は玄米・玄米を含んだ穀類、⑤アルカリ化食、⑥牛乳を飲まない、⑦肉を控える、⑧塩分を少なくする、⑨発酵食品を摂る（納豆・味噌）、⑩トランス脂肪酸を避ける、⑪禁煙。飲酒は控える、⑫適切なサプリメントの利用。

続いて、(3)に関しては、腸内細菌の重要性とそれと密接に関連する食習慣に対して「プラネタリーヘルス」の視座を持つ必要がある、とされています。なお、PHIの桐村里紗代表は「人と植物は相似形」として、次の図を示されています。

この会合には、スーパーマーケットの全国団体首脳や人材派遣会社が設立した農業支援ベンチャー・トップも参加され、プラネタリーヘルスの考え方をベースに、医療者と生活者を結び付ける農業生産者や流通事業者の役割を再認識する立場から発言されました。



2. その他

○7月28日（金）午後、JAHI 臨時理事会が開催され、17名の理事の出席を得て、令和5年度事業計画（案）及び予算（案）他が審議され、承認されました。今秋には定時理事会・評議員会が開催されます。

○JAHI は今般 JACDS 流通記者会に復帰が叶い、8月25日、月例報告を行いました。

○8月30日（水）、内閣府公益等認定委員会事務局より、来年1月末に定時立入検査実施の予告がありました。